

せんだい支えあいのまち推進プラン中間評価(個別事業評価)

参考資料

【事業名】2. 災害時要援護者避難支援の推進									
行政側の自己評価	事業実施	B	評価の理由	課題への取組	B	評価の理由	連携への取組	A	評価の理由
			・災害時要援護者リストを町内会・民生委員などの地域団体等へ年3回(6月・9月・3月)配布。 ・「災害に備える地域支え合いの手引き」や「取組事例集」を用い、町内会や地区社会福祉協議会が開催する研修会等で説明を行った。 ・多くの地域が課題としている「個人情報の取り扱い」と「支援者の主な役割」について、地域向けにわかりやすく説明する資料を配付した。 ・各種サービス手続きに合わせ、必要な方へ登録勸奨を行った。 ・一方、令和3年度同様登録勸奨の機会となっていた民生委員児童委員による75歳以上高齢者世帯調査がコロナの影響で中止。昨年度より申込者数は増えたものの、施設入所のため支援を必要としなくなったり、亡くなったりするなどの理由で全体の登録者数は減少した。			支援を必要とされる方々に、区役所の窓口来庁時に制度の説明及び登録勸奨を行った。			・町内会、民生委員児童委員、地域包括支援センター、地区社会福祉協議会にリストを配布した。 ・減災推進課が主催する仙台市地域防災リーダーの研修で制度の説明を行った。 ・地域の勉強会に市民生活課のアドバイザー派遣制度を活用した。 ・避難所担当課研修での制度の説明を行った。
アンケート先1	事業実施	≡ ●	評価へのコメント	課題への取組	≡ ●	評価へのコメント	連携への取組	▼	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			災害時要援護者登録制度に関しては、さまざまな機関、担当課が関わっているものではあるが、リストの配付や制度理解促進のみで、連携への取り組みをA評価として良いかは疑問がある。
アンケート先2	事業実施	≡ ●	評価へのコメント	課題への取組	≡ ●	評価へのコメント	連携への取組	≡ ●	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			相違なし
アンケート先からの事業への課題		【アンケート先1】 要援護者リストを活用した次の活動につながらっていない地域が多くある。 【アンケート先2】 制度の本旨が伝わらずに、町内会へ丸投げしていると感じている人たちも多いはず。支援する側も支援される側も制度理解を深めていく必要はあるだろう。							
アンケート先からの事業への要望		【アンケート先1】 地域版避難所運営マニュアル作成等のための支援アドバイザーは、現在の2名に長年依存している状態が続いているが、多忙や体調の問題で、なかなかマッチング出来ないことも増えてきている。スキルや経験が必要な役割だとと思われるため、今後もアドバイザー派遣を継続していくためには、新たなアドバイザーの養成などを行うなどして、新たな担い手を育成する必要があると思われる。							

【事業名】5.小地域福祉ネットワーク活動への支援									
行政側の自己評価	事業実施	A	評価の理由	課題への取組	A	評価の理由	連携への取組	A	評価の理由
			コロナ禍ではあったが、見守りやサロン活動、研修会等について少しずつ活動が戻り始めてきた。また、感染予防に留意した活動の工夫を推進し、活動を途切れさせないための支援を進めた。			地区社協活動のPRチラシを作成するなどし、地区社協活動の住民への見える化を図った。			CSWの働きかけにより、多機関協働を推進し、様々な団体・関係者と連携した支えあいの体制づくりに取り組んだ。
アンケート先評価	事業実施	?	評価へのコメント	課題への取組	≡	評価へのコメント	連携への取組	≡	評価へのコメント
			地区の民児協としては、独自に活動はしていない。地区社協と連携して、サロン活動、研修会を実施している。			地区の民児協としては、独自に活動はしていない。地区社協と連携して、サロン活動、研修会を実施している。			地区の民児協としては、独自に活動はしていない。地区社協と連携して、サロン活動、研修会を実施している。
アンケート先からの事業への課題		ボランティアフォーラムは、毎年趣向を変え実施しているが、企画する側としては、多様なボランティア活動が行なわれ、多様なボランティア団体、NPO団体がある中でのボランティアフォーラムの企画に大変そうに感じる。							
アンケート先からの事業への要望									

【事業名】8.成年後見セミナー									
行政側の自己評価	事業実施	A	評価の理由	課題への取組	A	評価の理由	連携への取組	A	評価の理由
			コロナ禍のため、会場定員を制限した上で参集型で実施し、175名が参加した。成年後見制度利用促進の現状と事例を通して、成年後見制度を市民に身近に感じてもらい理解を深める機会となった。			大規模会場での開催を見直し、参加者の希望に併せた複数のテーマの設定を行う。			セミナーの実施にあたっては、仙台市成年後見サポート推進協議会が主催となり、各団体と内容を協議・協力するなど必要な連携を行っている。
アンケート先評価①	事業実施	≡	評価へのコメント	課題への取組	≡	評価へのコメント	連携への取組	≡	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			相違なし
アンケート先評価②	事業実施	≡	評価へのコメント	課題への取組	≡	評価へのコメント	連携への取組	≡	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			相違なし
アンケート先評価③	事業実施	≡	評価へのコメント	課題への取組	≡	評価へのコメント	連携への取組	≡	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			相違なし
アンケート先からの事業への課題									
アンケート先からの事業への要望		【アンケート先2】 セミナーのテーマについて、講師派遣をするあたり、テーマ設定の前に意見を述べる機会をいただきたい。							

【事業名】11.生活困窮者自立相談支援事業									
行政側の自己評価	事業実施	A	評価の理由	課題への取組	S	評価の理由	連携への取組	A	評価の理由
			生活福祉資金特例貸付や自立支援金が終了したことに伴い、新規相談者数が減少したが、多くの生活困窮者の相談に対応し、一人ひとりに合った支援プランを作成した。			自立支援金の受給が終了し、常用就職が決まっている方等に対して、プッシュ型で就労支援等アフターフォローを実施した。			関係機関との密接な連携を行い、支援にあたることができた。
アンケート先評価	事業実施	≡	評価へのコメント	課題への取組	≡	評価へのコメント	連携への取組	≡	評価へのコメント
			相違なし			相違なし			相違なし
アンケート先からの事業への課題									
アンケート先からの事業への要望		目標値の記載があると、尚分かりやすい。							